

投 書

吹く風もめっきり秋らしく、新米の美味しい季節になりました。

美しいデザインでそびえ建つ中部ろうさい病院に、私は、一週間に一度か二度、ボランティアに参加させていただいて、患者さんとの交流や、病院の細やかな手助けをさわやかに、そして楽しく、更に私自身のボケ防止で来ています。

ボランティアをはじめてから丸五年近くと日は浅いのですが、いろんな行事がある中でも、入会当時に比べてひとつ感じたことは、ロビーでのコンサートが年々増えていると同時に、患者さんの参加が多くなり、終了後のお帰りの時の顔が、安らぎに満ちて晴れ晴れとしておられることをいつもうれしく思っております。

コンサートの内容は、お琴、三味線、二胡、ハンドベル、歌等、様々です。そのほか、年三回ほどの呈茶会、月一回ずつの絵手紙、季節ごとの飾り付け、クリスマスのカードの作成、それを通して、患者さんと病院（看護師さん）と気持ちをかよわせるという行事もあります。

優秀な先生方が病気を治す事は勿論ですが、看護師さんのその手助けは、いう迄もなく、患者さんとの心の掛け橋となり、医療の中により一層の喜びと信頼を大切に出来る病院になるように、私達ボランティアも心ばかりの手助けをとエプロン姿で頑張っております。

川柳を作りました。

病院の ボランティアにて ボケ防止
入歯入れ 鏡の中で 若返り

ふだん思っていることを書いてみました。

失礼しました。

(ボランティア K.S)